



市長との

今回は、合併・組織等についての話題です。

組織改革というのが今年始まったわけですが、中央へ人間を吸い上げていくと支所はだんだん廃れていく。支所をいくつか整理して、出張所・連絡所等に機能を小さくしてしまうと聞いたが、その施策は本当か。

職員にはバランスを考えながら中央からの視点で、支所を見てもらいたいと思うんです。短かく早めに動かしてできるだけお互いの理解を深めるようにします。組織を改革してスリムにするというのは、いつやるかの問題なんです。それぞれに連たん無しに繋がらずにたくさん街があります。それぞれの個性と文化と歴史があるわけです。

各地域で反対あるいは賛成、もつと早くやれなど多く議論をしながら、新しい市を作らせてもらいたいと思います。

合併し、旧市町村から施設を受け継いだら、それを民間に委託して、市の財政を楽にしたい。温泉や美術館、福祉関係などたくさん施設の委託をするのですが、委託したいと言ってもそれを受ける業者がいなければ、閉鎖するということが聞いております。どうなるのかお聞かせ願いたい。

だいたい公がやると赤字になる。職員がやると縦割りであって効率が悪いわけです。この制度は大きな刺激です。民間で出来るものは民間で、同じサービスなら良いじゃないかと。民間の方がずっと能力があると認められるものは民間に移していかないと市もやっていけないようになってくる。職員の持っている安定性も非常に大事なことです。バランスを見ながら、やらしてもらいます。

地域審議会について審議委員はどういう形で誕生したのかお聞きしたい。公募の定数が少ないようだが増やせないか。

8人は行政サイドで団体の長を選出し、2人は学識経験者から選ばせていただきました。5人は公募し公開抽選です。8人のうち3割は女性にして欲しいと各支所にお願いました。現在、2年任期の2年目であり、今後の公募方法については検討させていただきます。

基金について、地域自治組織を作りたので資金として活用できるか。また、特定の地域への文化的活動支援は可能か。

地域自治組織を作るための

資金としては難しい。合併特例債を積み立て、利子を果実として、1%の運用益であれば、40億円で4千万円。地域で考えるような文化的な活動などにお使いいただくことになる。各種の申請に対して選定委員会を設けて採用できるか検討していきたいと考えています。

振興基金の目的は合併にそって、新市としての一体感を保てるような地域づくりを資するものであり要件に合致した場合には対応できます。具体的な計画を練上げ、選定委員会の場に持ち上げていただきたいと思います。

祭りや地域振興イベントを見直すという事で聞いたのだが、どういう方向で行われるのか。地域活性化という面からはむしろ充実していきたい。統合されることが一番心配である。

今年の予算は去年とほとんど同じ。300あ

●各会場参加者一覧

日程	曜日	会場等		参加者数
4月26日	火	小 木	あゆす会館	60
4月28日	木	赤 泊	赤泊総合文化会館	80
5月 9日	月	羽 茂	羽茂公民館	58
5月10日	火	真 野	真野ふるさと会館	80
5月11日	水	畑 野	畑野農村環境改善センター	172
5月17日	火	金 井	金井コミュニティセンター	78
5月18日	水	佐和田	佐渡中央会館	120
5月23日	月	新 穂	トキのむら元気館	96
5月24日	火	両 津	佐渡島開発総合センター	60
5月25日	水	相 川	あいかわ開発総合センター	164
総参加者数				968

祭りの半分くらいは補助・助成をしていて、年間9千万ぐらいお金を出している状態です。支所丸抱えで支所の職員が一生懸命やって、かつお金を出さないと成り立っていかないような祭りもあれば、市から一銭も出さなくて地域でお祭りを楽しんでいるというのがあります。地域主体の祭りを中心に応援したい。地域をにぎやかにするためだけにお金を出すのはできるだけやめたいというのが基本的な考え方です。

次号は、環境問題、観光等について掲載します。

対話集会

～タウンミーティング～



市長との対話集会が4月26日から、10地区を会場に行われました。「市長との対話集会」は延べ参加者数968名を数え佐渡市の現在、そして未来へのご意見、ご要望をいただきました。

会場でのご意見、ご要望について、今月から3回にわたり、要約して連載させていただきます。

『市民と市長との対談が1年余り遅れてしまいました。自然災害の風評被害など様々なことがありましたが、やっと新年度から新体制で動き出す事ができ、皆さんとこうして話し合いをする時間を持てるようになりました。堅苦しくなくて、質問がどんどん出るような場にしていきたいと思います。この集会だけでなくいろいろなメディアを使って市の方針を皆さんにお伝えしていかうと考えていますので、皆様の声を聞かせていただきたいと思います。』

合併してよかったのか悪かったのか。若い人に夢を持たせる。これから10年先を市長はどのように考えているか。

合併する事により、今までできなかった事ができるようになりました。今までは優秀な人がいてもその地区でしか活躍できない。若い人たちに佐渡全体というステージを与えて夢のある人をどう育てるかが必要と考えています。

それから、財政的な問題がある

りました。旧自治体では地方交付税を1億円近く減らされて、否応無しに合併しないと…。毎年佐渡全島で12億ずつ減額されていきましたが、合併後の1・2年は減らされていません。

合併後は、ステージを広くして、若者が活躍できる場所を作ったつもりです。合併前と違い、それぞれの市町村の境が無く佐渡全島で活躍する人を大いに受け入れる。箱物を作る時代ではありませんが、知恵を出し合って若い人たちにも魅力のある場所作りを進めていきたいと思います。

合併時に負担は軽い方へサービスは高い方へ合わせると説明を受けていたが合併してよかつたなあという声は聞いた事がない。

負担は軽いほうに。サービスは高い方にということですが、だいたい、1億円から1億5千万円くらいは今までの10か市町村よりサービスに要する費用は増えています。それを全体で見てください。それだと思います。

市の公務員の定数はどれだけになるのか、また何年計画でそれまで持っていくのか。

行財政改革の問題と合わせ

てやらなければならぬと思っ
ています。今年から行財政改革
推進室を作って、どれくらいの
定数が良いのかを検討し始めま
した。いろんな施設を統合し、無
駄な施設は廃止するという事が
非常に大事であり、これからそ
ういった作業が否応無しに進ん
でいくと思います。今まで行っ
ていた業務を減らさずに人員を
減らすという事は難問ですが、
あえて踏み込んで行政改革の効
率を上げようとして作業が進
められているので、折々の作業の
過程を情報公開していきたいと
考えています。

支所の充実。私も周辺部に
住む者にとって支所こそ最も期
待しているサービス機関。人員
が減ると、我々の要求を満たせ
てもらえなくなるのではと危惧
している。事務量に従った人員
配置ではないように感じる。臨
時職員も含め、適正配置を願う。

各地域の内容を良く知っている者が本庁で活躍してもらおうのが良いと思います。今は、事務量の調整と見直しが必要です。職員数が類似団体に比べると圧倒的に多い。仕事の量と配置を再確認したいと思います。また、地域との話し合いも十分に行いたいと考えています。

